

生活科学学習指導案

平成20年2月2日(月)第5校時
第2学年(19名)

授業の視点

児童が自分たちの成長に気付いた際に、その理由を考えさせる発問をしたことは、児童が自分達の成長への気づきを深めるのに有効であったか。

I 単元名 あしたへジャンプ

II 考察

1 児童の実態 (略)

2 教材観 (略)

3 教材の系統 (略)

4 他教科との関連 (略)

5 校内研修との関連

生活科では昨年度から、「考える力を育てる」手立てとして、体験活動で得た気づきを振り返り、考えを交流する活動を意図的に取り入れ、気づきを高める授業改善に取り組んできた。

本単元では、2年生になってできるようになったことを話し合ったり幼稚園児と一緒に遊んだり自分が小さかった頃をまとめる活動を取り入れる。児童は自分の成長にはなかなか気付かないでいる。2年生になってできるようになったことを話し合う活動を通して、できることが増えた自分に気付くであろう。幼稚園児と一緒に遊ぶ活動を通して、間接的に自分の成長を実感するであろう。小さかった頃をまとめる活動を通して、自分を支えてくれた人の存在に気付いたり調べたことを表現する力やお互いの成長を認め合う力が育つであろう。それぞれの振り返りの場でお互いの気づきを交流し合うことによって気づきを全員で共有しみんなで高めていくことができると考える。

6 指導方針及び学習活動の支援

《事前》

- ・児童が2年生として成長したことが実感できるよう、生活科ファイルや学習ファイルをまとめる活動を取り入れる
- ・児童一人一人ができるようになったことのよさが共有できるよう、「わたしのじまん当て」ゲームを取り入れる。
- ・児童が自分の意見を分かりやすく話したり友達の話をしっかり聞くことができるよう、国語科(話す・聞く)との関連を図る。
- ・児童が主体的に自分の小さかった頃のことが調べられるよう、調べる計画をたてさせたり、指導過程を工夫して家で調べてくる時間を確保したりする。
- ・児童が、園児の様子を通して自分が幼稚園の頃の様子を思い出したり自分の成長に気付いたりできるよう、幼稚園へ行き園児との交流の時間をもつ。
- ・振り返りがしやすいよう、幼稚園訪問の様子をビデオや写真で撮影しておく。
- ・児童一人一人が幼稚園児と積極的にかかわれるよう、あらかじめ幼稚園の先生と流行っている遊びや園児の様子、児童や園児に対する支援等の打ち合わせをしておく。
- ・園児への気づきについて本時に児童が自信をもって発表できるよう、幼稚園に行つて分かったことを活動後すぐにワークシートに書かせておく。

《本時》

- ・幼稚園で活動したことが振り返りやすいよう、写真やビデオを提示する。
- ・園児への気づきから今の自分の成長にすぐに結びつけるのではなく、園児への気づきを発表させる中での児童の気づきを糸口に今の自分に気付かせるようにする。
- ・自分一人だけの気づきで終わらないよう、全員で話し合うことにより気づきを深めてい

- く。
- 自分たちが成長してきたことに対して、「なぜだろう」と問いかけることにより、なぜ成長できたのかという成長してきた過程に気付かせ、これからの成長にもつなげられるようにする。また、自分の努力だけでなく周りの人とのかかわりがあったことにも気付かせるようにする。
- 児童が、園児への気付きから今の自分の成長が分かり、なぜ成長できたのかという思考過程が一目でわかるよう、板書を工夫する。
- 児童が自分の成長を実感したことが残せるよう、本時の授業で思ったことを書くワークシートを使用する。

《事後》

- 本時の気付きを成長の記録に書き入れたり、お世話になった人へ感謝の気持ちを届ける活動につなげるようにする。
- 小さい頃を調べる活動については、どの児童も自分なりに出来事を調べられるよう、生育歴や家庭環境の違いに配慮しながら進める。
- 小さい頃を調べる活動では、児童が自分の成長を実感することができるよう、月日を追うのではなく節目ごとの出来事を取り上げさせる。
- 自分の成長の記録を作成する活動では、国語科（書くこと）や図工科（表現）との合科的な指導を図る。

7 授業中における生徒指導上の留意点

①多面的な児童理解について

日常の観察や授業中の様子、幼稚園の先生からの情報などから一人一人のよさを理解するように心がけ、発表やつぶやきの他、表情、対話、動きから児童の工夫や気付きの深まりを把握する。

②自己存在感・自己決定の場の設定について

個別指導での適切な言葉かけををするとともに、工夫や気付きのよさを見付けて賞賛したり励ましたりしていく。また、じっくりと活動に取り組めるように十分な時間と場の保障をする。

③共感的な雰囲気作りについて

児童の活動意欲を大切にしながら、その活動を肯定的に捉えるとともに、「誰もが共感的に相手の意見を聞き合えるような教室の雰囲気作り」につとめる。

Ⅲ 単元の目標、評価規準と評価計画（25時間予定：本時はその8時間目）

評価項目の下線部（~~~~~）は、十分満足できる状況を表す。

単元の目標		評価規準				
		関心・意欲・態度	思考・表現	気付き		
自分の成長に関心を持ち、振り返ることを通して、自分が成長してきたことや、成長の背景には多くの人の支えがあったことに気付くとともに、成長を支えてくれた人に感謝し、意欲的に未来に向かって生活しようとするができる。		自分の成長に関心を持ち、進んで調べたり、まとめたりしようとする。	自分の成長の様子を自分や家族の気持ちと結びつけながら、工夫して表現している。	自分や友達の成長を確かめるとともに、それを支えてくれた周りの人たちの存在、一人一人の違いやよさに気づく。		
過程	小単元	学習活動	時間	評価の観点 関 思 気	評価項目 (評価方法)	主な支援
であ う	で き る よ う に な っ た よ	○自分が自慢できることや得意なことを見つめる。	① 45分 × 1	○	○自分が自慢できることや得意なことを複数見つけることができる。 (ワークシート)	・学習ファイルの整理を通して気付いたことを書かせる。 ・学習、遊び、運動、習い事、手伝い等の中から見つけさせる。 ・見つからない児童には友達の見聞を聞くなどさせる。
		○自分が自慢できることや得意なことを絵や文で表現する。	② 45分 × 1	○	○自分が自慢できることや得意なことを友達に分かりやすく工夫しながら表現している。(ワークシート)	・前時で見つけたことの中から一番自慢したいことを「わたしのじまんカード」に記入させる。
		○「わたしのじまん」当てゲームをし、お	③ ④		○自分や友達には自慢できるくらいたくさんのできる	・前時にかいたカードを教師が読み、誰のことかを当

は た ら き か け る	④	互いに自分の自慢を紹介し合う。	45分×2		○	ようになったことがあることに気付いている。 (観察)	て合う。 ・誰のことか分かった理由の説明を通して児童同士の理解が深まるようにする。
		○小さかった頃を調べる計画を立てる。	⑤ 45分×1		○	○自分が小さかった頃を調べる方法が分かり、 <u>意欲的に調べよう</u> としている。 (計画表、観察)	・前時の学習から、いつ頃からできるようになったのかどうして自慢できるようになったのか考えさせることによって、できなかった幼いときに気付かせる。 ・どのようにすれば小さい頃が調べられるか考えさせる。
		○利南幼稚園に行き園児と遊んだり当時の話を聞いたりする。	⑥ 45分×1		○	○幼稚園児と <u>積極的にかかわりながら楽しく交流</u> することができる。(観察)	・児童が幼稚園児と積極的にかかわれるよう声かけをする。
		○幼稚園で園児と交流して感じたことや気付いたことをワークシートにかく。	⑦ 45分×1		○	○幼稚園児と一緒に遊んで気付いたことを <u>複数書</u> いている。(ワークシート)	・幼稚園や園児の様子で気付いたこと、自分の幼稚園時代と比べて思ったこと等を書くように声かけをする。
	⑮	○幼稚園に行つて気付いたことや考えたことを話し合う。	⑧ 本時 45分×1		○	○話し合いを通して自分の <u>内面の成長にも気付く</u> ことができる。 (発言、つぶやき、ワークシート)	・ビデオや写真を提示して意見を発表しやすい環境を構成する。 ・園児と今の自分の姿を比較できるように板書を工夫をする。
		○小さかった頃に使った品物を見せ合い紹介しあう。	⑨ ⑩ 45分×2		○	○友達と <u>思い出の品</u> について <u>進んで</u> 話している。(観察)	・家族から聞いてきたことをもとに写真を見せながら紹介させる。 ・思い出の品物で遊ぶ。
		○調べたことをもとに成長の記録を作る。	⑪ ⑰ 45分×7		○	○自分なりの方法で <u>読む人</u> に <u>分かりやすいように</u> 、 <u>成長の記録をまとめる</u> ことができる。(作品)	・教科書の作品例を参考にさせたり、前年度の作品を紹介するなど多様な方法を提示する。 ・表現方法が似ている友達とアドバイスし合える環境をつくる。
		○成長の記録を発表しあう。	⑱ ⑲ 45分×2		○	○ <u>聞いている人がイメージしやすいように発表</u> のしかたを工夫している。(発表)	・すべてを発表させるのではなく、特に自分の成長や周りの人々の支えが分かる出来事を発表させる。
		○自分の成長と家族や周りの人々とのかわりについて話し合う。	⑳ 45分×1		○	○自分の成長には家族や周りの人々の支えがあったことに <u>複数</u> 気付くことができる。(発言、観察)	・自分も努力してきたことにも気付かせたい。
		○お世話になった人に感謝の気持ちを届ける。	㉑ ㉒ 45分×2		○	○感謝の気持ちを持ち、それを <u>相手に分かりやすく表現</u> することができる。 (発言、作品)	・感謝の気持ちを伝える方法を具体的に考えさせ、自分なりの表現方法を工夫させる。
ふ り か え る		○3年生や上位学年ではどんなことを勉強したり体験するか予想し、調べる計画を立てる。 業前活動	㉓ 45分×1		○	○上位学年の学習や生活に関心を持ち <u>具体的に</u> 情報を収集しようとしている。 (観察)	・「何年生のこと」、「どんなこと」など知りたいことを考える視点を示す。 ・グループごとに計画を立てさせる。
						(休み時間) 3年生や上位学年にインタビューをする。	・上位学年の担任に知らせておき協力してもらう。 ・インタビューするときのマナーについて確認しておく。
こ れ か ら の わ た し	③	○上位学年になったらどんなことをしてみたいか作文に書く。	㉔ 45分×1		○	○聞いてきたことをもとに、これから挑戦してみたいことやできるように <u>具体的に</u> 書けるように話し合い、 <u>具体的に</u> 書くことができる。 (作文)	・インタビューで分かったことを発表させる。 ・希望や目標が具体的に書けるように声かけをする。

○ 作文を発表しあう。	② 45分×1	○	○ 自分の考えと比べたり友達の意欲を認めながら発表を聞くことができる。 (観察、発言)	・ 発表を通して友達の間目標を共有し、全体で頑張っていく雰囲気をつくる。
-------------	------------	---	--	--------------------------------------

IV 本時の学習

- 1 目標 幼稚園で遊んだ体験を振り返り、気付いたことを発表しあう中で、自分達の成長に気付くことができる。
- 2 準備 園児と遊んでいるビデオ、写真、ワークシート
- 3 展開

評価項目の下線 (~~~~~) は十分満足を表す。

過程	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点	評価項目 (方法)
であう	1. 本時の課題をつかむ。 利南幼稚園に行ったことを思い出して気づいたことを話し合おう。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利南幼稚園へ行った写真やビデオを見て、園児と遊んだり幼稚園の先生と話したことを確認し、話し合いへの意欲をもたせる。 ・ 写真やビデオを見ながら、児童と園児の違いに視点を当てた発問をする。 (例) 「園児にどんなことを言っているのかな」 「○○ちゃんも幼稚園のときはこうだったのかな」 	
はたからきかけらる	2. 気付いたことや思ったことを話し合う。 ◇予想される児童の感想 <ul style="list-style-type: none"> ・ 園児と一緒に遊んで楽しかった。 ・ 幼稚園で遊んで懐かしかった。 ・ 園児は背が小さかった。 ・ 遊具が小さかった。 ・ 園児に話が通じなかった。 ・ ぼくが小さいときにやっていた遊びをしていた。(違う遊びをしていた。) ・ ぼくの方が上手にできた。 ・ 先生が、私はよく泣いていたって言っていた。 ・ 鉄棒で逆上がりを見せたら驚いていた。 ・ 園児は上手に切れないからわたしがはさみで切ってあげた。 ・ 鬼ごっこをしたら園児をすぐにつかまえられた。 ◇予想される児童の姿	25分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に書いたワークシートを発表させる。 ・ 話し合いにおける言葉のやりとりの中で、学び合いながら自分の成長に気付かせていく。 ・ 気付いたことの裏返しを今の自分であることに気付くよう教師が発問構成を工夫する。 「幼稚園の子はこうだったけど、今のみんなはどうかな」 ・ 成長の過程に気付くことができるよう「なぜ」と問いかける発問をする。 「なぜ、できるようになったのかな」 「なぜ、大きくなったのだろう」 ・ 児童からの発言が途切れた時には、幼稚園で園児と遊んでいるところや園内の施設等の写真を提示して発言が出やすいようにする。 ◇支援例	園話し合いを通して自分の内面の成長にも気付くことができる。 (発言、つぶやき、ワークシート)

ふりかえる	<p>C1:話し合いに無関心で反応が見られない。</p> <p>C2:気付いたことをうまく表現できない。</p> <p>C3:話題に関係ない話をしてしまう。</p> <p>C4:自分の成長についての気づきもてない。</p>	<p>C1:意図的に指名して、感想を発表させる。</p> <p>C2:同じ意見に挙手させることで話し合いに参加させていく。</p> <p>C3:板書を示し、自分の発言がどれと関連しているのか考えさせる。</p> <p>C4:板書を示したり友達の意見を聞かせたりして気付かせていく。</p>
	<p>3. 自分たちの成長についてまとめ。</p>	<p>10分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板書を振り返りながら自分たちの成長を実感できるようにする。 ・今日の学習の感想を書く。 ・次時の活動内容を話す。

